

令和 2 年度 施策評価表

第 6 章『自然と調和する住みよいまち』

| | |
|----------|---|
| まちづくりの目標 | まちなかにみどりがあふれ、そこに人々が集い、思わず歩きたくなる、自然と調和した安全で住みよいまちをめざします。 |
| 分野別計画・指針 | 所沢市都市計画マスタープラン、所沢市ひと・まち・みどりの景観計画、所沢市中心市街地街並み整備計画、所沢市住生活基本計画、所沢駅周辺まちづくり基本構想、改定所沢市建築物耐震改修促進計画、所沢市橋梁長寿命化修繕計画、所沢市水道事業長期構想、所沢市水道事業基本計画、所沢市水道事業中期経営計画、所沢市下水道事業経営計画、市街化調整区域下水道整備基本計画、所沢市生活排水処理基本計画 |

| | |
|------|--------------------|
| 第1節 | 土地利用 |
| 関係所属 | 都市計画課、市街地整備課、企画総務課 |

| | | | | |
|---|------------------|-------|-----------------|------|
| 施策に対する市民満足度・要望度 (「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,043人 | 満足、まあまあ満足と回答した人数 | 満足度 | 力を入れてほしいと回答した人数 | 要望度 |
| 「土地利用」 地域の特性を活かし自然と調和した街づくり(土地利用)が進められている | 272 | 13.3% | 165 | 8.1% |

| 評価指標の達成状況 | 指標名 | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
|-----------|----------------|----|----------|---------|--------|------|---------|
| | 土地利用に関する施策の満足度 | % | - | → | 13.3 | | 65 |

| 事業目標の達成状況 | | | | | | | |
|------------------------|----------------|----|----------|---------|--------|------|---------|
| 基本方針 | 事業目標 | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
| 6-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進 | 土地利用転換の達成地区数 | 地区 | 0 | 1 | 1 | ○ | 2 |
| 6-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進 | とことろ景観資源の指定件数 | 件 | 196 | 199 | 194 | × | 215 |
| 6-1-3 基地返還と跡地利用の促進 | 基地返還に関する要望実施件数 | 件 | 2 | 2 | 3 | ○ | 3 |

節の基本方針への取り組み状況

◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り

- 20年先を見据えた街づくりの方向性を示す「所沢市都市計画マスタープラン」を策定した(令和2年3月議決)。これまで記載していなかった、地域の活性化に寄与する「交流拠点」や、一定の都市機能が集中する鉄道駅を中心とした「生活圏」の考え方を新たに示した。
- 土地利用転換については、旧暫定逆線引き地区の若松町地区を令和2年3月末に市街化区域へ編入し土地区画整理事業の認可を取得した。
- 他の旧暫定逆線引き地区についてはそれぞれ次の取組を進めた。
 - ・上安松・下安松西地区については、土地区画整理事業を実施して市街化区域編入を目指す地権者組織に対して勉強会や地元説明会を行った。
 - ・下安松地区の一部(下安松中央地区)については市街化区域に編入しないこととし、関係部署との協議を行った。
 - ・市街化区域へ編入しない北中地区、上山口地区、牛沼地区については、用途地域の廃止に向けた地権者説明会を行うとともに、関係部署と用途地域廃止後の形態規制の協議を行った。
- 土地利用転換推進エリアについては、優先的に進める三ヶ島工業団地周辺地区において、測量や権利関係調査等にかかる助成金を交付するとともに事業の推進に向けた指導、助言等を行った。あわせて、事業を進めるうえで必要となる環境影響評価(調査・予測・これらに基づく評価の実施)を行った。
- 景観施策については、「ひと・まち・みどりの景観計画」の策定(平成23年)から間もなく10年を迎えることから、景観審議会において今後の課題等について意見交換を行った。
- 米軍所沢通信基地内を東西に横断する東西連絡道路については、予定通り工事が完了し、令和2年3月28日に供用を開始した。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析

- 第1節の評価指標「土地利用」は、第2節「市街地整備」及び第7節「住宅・住環境」の要素も含む土地利用への包括的な評価と考えられる。これらの指標は平成30年度から満足率の上昇と要望率の低下といった変化が見られる中で、「土地利用」の満足度はほぼ横ばいとなっている。こうした変化の要因について施策の成果との関係は現時点では不明であるが、大きな数値の変化は設問の変更(*)による影響も考えられる。

< 市民意識調査の結果 >

| | | |
|-------|--------|--|
| 【満足率】 | 土地利用 | H28 12.2% ⇒ H29 13.7% ⇒ H30 15.3% ⇒ R1 13.3% |
| | 市街地整備 | H28 13.3% ⇒ H29 14.5% ⇒ H30 23.9% ⇒ R1 38.6% |
| | 住宅・住環境 | H28 20.0% ⇒ H29 25.2% ⇒ H30 39.1% ⇒ R1 42.9% |
| 【要望率】 | 土地利用 | H28 36.9% ⇒ H29 41.4% ⇒ H30 8.8% ⇒ R1 8.1% |
| | 市街地整備 | H28 41.1% ⇒ H29 46.1% ⇒ H30 13.3% ⇒ R1 9.6% |
| | 住宅・住環境 | H28 30.8% ⇒ H29 35.3% ⇒ H30 10.2% ⇒ R1 10.1% |

*設問の変更(満足率・要望率の回答方法の変更):平成29年度までは、42の施策名称の一覧の中から「充実すべき施策」「満足している施策」を選択する方法となっていた。平成30年度は、施策名称の一覧を示してそれぞれの施策に対して「満足」「まあまあ満足」「わからない」「やや不満足」「不満足」のいずれかに丸を付ける方法へ変更された。さらに、令和元年度は、施策名称とその参考となる考え方の一覧を示してそれぞれの施策に対して「満足」「まあまあ満足」「わからない」「やや不満足」「不満足」のいずれかに丸を付ける方法へと変更になっている。

- 景観資源については、多数の申請がなされたために登録の処理が滞ってしまった。また、所有者の事情等により登録を解除したものがあつた。

今後の方向性

◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容

- 旧暫定逆線引き地区の上安松・下安松西地区、下安松東地区、産業系土地利用を進める三ヶ島工業団地周辺地区の3地区について、地権者による準備組合との調整を進めていく。
- 令和元年度の景観審議会で示された論点を基に、事務局で課題を整理し計画の改定に向けた検討を進める。
- 東西連絡道路用地返還後の、新たな返還実現に向け、要望活動等を実施していく。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容

- 新たに策定した都市計画マスタープランに基づき今後の施策展開を進める。
- 景観資源にふさわしい季節に写真撮影を行うなど、個々の資源の魅力が伝わるよう工夫に努めるとともに、申請されたものについては計画的に登録事務を行っていく。

SDGsへの貢献

| | |
|----------------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | レ 11 住み続けられるまちづくりを |
| レ 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | レ 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 平和と公平をすべての人に |
| レ 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| レ 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | |

| | | | |
|-----|---------|--------|--|
| 評価日 | R2.7.31 | 記入者職氏名 | 街づくり計画部次長 畑中 武 経営企画部次長 井上 典 街づくり計画部土地利用推進担当参事 下川原 優一 |
|-----|---------|--------|--|

| | | | | | | | | |
|--|---------------------------------|--------------------------------|------------------|----------|-----------------|---------|------|---------|
| 第2節 | 市街地整備 | | | | | | | |
| 関係所属 | 市街地整備課、所沢駅西口区画整理事務所、都市計画課、建築指導課 | | | | | | | |
| 施策に対する市民満足度・要望度 (「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,043人 | | | 満足、まあまあ満足と回答した人数 | 満足度 | 力を入れてほしいと回答した人数 | 要望度 | | |
| 「市街地整備」 所沢駅周辺をはじめとしてにぎわい創出に向けた整備が進んでいる | | | 788 | 38.6% | 207 | 10.1% | | |
| 評価指標の達成状況 | 指標名 | | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
| | 所沢駅の1日平均乗降客数 | | 人 | 102,732 | 105,000 | 104,984 | × | 114,000 |
| 事業目標の達成状況 | | | | | | | | |
| 基本方針 | | 事業目標 | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
| 6-2-1 | 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進 | 事業地区を含む周辺の居住人口(御幸町・東町・日吉町・東住吉) | 人 | 6,594 | 6,722 | 6,789 | ○ | 7,800 |
| 6-2-2 | 安心・安全に暮らせるまちづくりの推進 | 土地区画整理事業による防災性能の向上を進める面積 | ha | 169.1 | 190 | 220.9 | ○ | 290 |
| 6-2-3 | 市街地整備の適正な誘導(良好な市街地整備の推進) | 地区計画・建築協定等の策定地区数 | 地区 | 37 | 39 | 39 | ○ | 44 |
| 節の基本方針への取り組み状況 | | | | | | | | |
| <p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○所沢駅西口区画のまちづくりでは、所沢駅周辺の賑わいの創出を目指し、地区内で広域集客型商業施設の建設を予定している西武鉄道株式会社及び住友商事株式会社と、協働による街づくりの推進を目的とした協定を締結した。また、所沢駅西口土地区画整理事業区域内の用途地域及び地区計画等の都市計画変更を行った。</p> <p>○所沢駅西口の回遊性の向上を目的とした歩行者ネットワークについては、ワルツ所沢北側の既存歩行者デッキと所沢駅西口北街区とを結ぶ歩行者デッキの整備に着手した。</p> <p>○所沢駅の東西市街地の分断解消を目的とした所沢駅ふれあい通り線については、鉄道事業者協定を締結し、道路の調査設計を行った。</p> <p>○所沢東町地区第一種市街地再開発事業については、令和3年度の施設建築物の工事完了に向けて再開発事業組合に対する助言や支援を行った。また、ファルマン通り交差点改良事業については用地の取得を進めた。</p> <p>○防火地域については所沢駅西口土地区画整理事業区域内の約4.4haの指定を行った。準防火地域については、若松町地区の市街化区域編入に伴い約14.4ha、北秋津・上安松地区の事業の進捗状況による用途地域等の変更に伴い約33haの指定を行った。</p> <p>○地区計画については、所沢駅西口土地区画整理事業及び北秋津・上安松地区土地区画整理事業の用途地域等の変更に伴い地区計画の変更を行い、若松町地区については市街化区域編入に伴い新たに地区計画を指定した。</p> | | | | | | | | |
| <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○所沢駅の1日平均乗降客数は令和元年度の目標値105,000人にわずかに届かなかった(実績104,984人)。所沢駅西口のまちづくりは基盤整備等を順調に進めており、令和2年度中に再開発ビルへの入居が始まることなどにより、居住人口や来街者、乗降客数も増加するものと考えている。</p> | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | | | | | | | | |
| <p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○計画的な土地利用を誘導するための所沢駅西口土地区画整理事業の推進(事業の完成に大きく影響する令和6年春の広域集客型商業施設の開業を見据えた事業の進行管理)。</p> <p>○賑わいの創出を目指した歩行者ネットワークの整備(ワルツ所沢、所沢駅西口北街区、大型商業施設を結ぶ歩行者デッキの築造による回遊性の向上)。</p> <p>○所沢駅の東西市街地の分断解消を目的とした所沢駅ふれあい通り線の築造(令和8年開通を目指した事業の進行管理)。</p> <p>○旧暫定逆線引き地区、産業系土地利用を進める地区の市街化区域編入の手続きを進め、各地区の特性に応じた防火・準防火地域及び地区計画を指定していく。</p> <p>○既存の住宅地については、住民で構成される協議会に対して地区計画等の案の策定を支援し、必要な手続きを進める。</p> | | | | | | | | |
| <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○広域集客型商業施設を誘導する。</p> <p>○都市拠点土地利用デザイン推進事業により、所沢駅周辺の賑わいと回遊性を向上する方策を検討する。</p> | | | | | | | | |

| SDGsへの貢献 | | | |
|----------|----------------------|--------|---|
| | 1 貧困をなくそう | | 10 人や国の不平等をなくそう |
| | 2 飢餓をゼロに | レ | 11 住み続けられるまちづくりを |
| レ | 3 すべての人に健康と福祉を | | 12 つくる責任 つかう責任 |
| | 4 質の高い教育をみんなに | | 13 気候変動に具体的な対策を |
| | 5 ジェンダー平等を実現しよう | | 14 海の豊かさを守ろう |
| | 6 安全な水とトイレを世界中に | レ | 15 陸の豊かさを守ろう |
| | 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | | 16 平和と公平をすべての人に |
| レ | 8 働きがいも経済成長も | レ | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| | 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | | |
| 評価日 | R2.7.31 | 記入者職氏名 | 街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部土地利用推進担当参事 下川原 優一 街づくり計画部建築指導担当参事 保坂 貞夫 街づくり計画部所沢駅西口区画整理担当参事 工藤 順一 |

| | |
|-----|----|
| 第3節 | 道路 |
|-----|----|

| | |
|------|---------------------------|
| 関係所属 | 建設総務課、道路建設課、計画道路整備課、道路維持課 |
|------|---------------------------|

| | | | | |
|---|------------------|-------|-----------------|-------|
| 施策に対する市民満足度・要望度 （「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果）※回答数：2,043人 | 満足、まあまあ満足と回答した人数 | 満足度 | 力を入れてほしいと回答した人数 | 要望度 |
| 「道路」 所沢市内の道路環境は整備されている | 540 | 26.4% | 422 | 20.7% |

| 評価指標の達成状況 | 指標名 | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
|-----------|-------------------|----|----------|---------|--------|------|---------|
| | 充実した道路環境を要望する人の割合 | % | 56.2 | 現状値未滿 | 20.7% | ○ | 現状値未滿 |

事業目標の達成状況

| 基本方針 | 事業目標 | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
|----------------------|-----------------|----|----------|---------|--------|------|---------|
| 6-3-1 道路整備の推進 | 都市計画道路の整備状況 | % | 70.5 | → | 71.2 | — | 72 |
| 6-3-2 幹線道路の建設推進 | 幹線道路(バイパス)の整備状況 | m | 0 | → | 433 | — | 1,679 |
| 6-3-3 生活道路の整備推進 | 生活道路拡幅整備延長 | m | — | → | 723 | — | 4,000 |
| 6-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進 | 自転車レーンの整備延長 | m | 770 | 3,337 | 3,697 | ○ | 12,294 |
| 6-3-5 道路環境の維持 | 橋りょう長寿命化修繕の箇所数 | 橋 | 2 | 1 | 1 | ○ | 1 |

節の基本方針への取り組み状況

◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り

- 県施行による都市計画道路飯能所沢線と東京狭山線の建設促進を図った。
- 東京狭山線については令和2年3月5日に下安松工区の供用を開始した。
- 都市計画道路北野下富線の用地取得並びに道路工事を進めた。
- 自治会等からの要望を基に、歩行者の安全性及び交通の利便性等の向上を図るため、市道5-270号線外4路線、併せて約723mの拡幅整備を行った。
- 東所沢駅前通り線に続き、東所沢中央通り線の一部となる約700mの区間において自転車レーンの整備を進めた。
- 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき新川橋の修繕工事を実施したほか、小手指陸橋ボルトの落下防止のためボルトキャップ設置工事、美原小学校前歩道橋塗装塗替工事を実施し、橋りょうの維持管理に努めた。

今後の方向性

◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容

- 通学路の安全性の向上を図るため、自治会等からの要望を基に通学路の歩道整備及び拡幅整備を進める。
- 本市の外環状道路の一路線として位置づけられた「都市計画道路北野下富線」について、早期の全線開通に向け道路工事等の整備、並びに道路用地として必要となる未取得地について権利者との用地交渉を進める。
- 所沢と狭山市を結ぶ「都市計画道路松葉道北岩岡線」について「都市計画道路北野下富線」の一部と合わせた開通を目指し整備を進める。
- 歩道内における歩行者と自転車の接触事故軽減を目的に自転車レーンを整備し、安心して安全な道路空間を創出する。
- 法定定期点検の結果において健全度Ⅲ以上の橋りょうを最優先に、予防保全の観点から修繕工事を実施していく。

SDGsへの貢献

| | |
|----------------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | レ 11 住み続けられるまちづくりを |
| レ 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | レ 16 平和と公平をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| レ 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | |

| | | | |
|-----|---------|--------|-------------|
| 評価日 | R2.7.31 | 記入者職氏名 | 建設部次長 遠藤 弘樹 |
|-----|---------|--------|-------------|

| | | | | | | | | |
|--|------------------|---------------------|-----------------------------|--------------|-----------------|--------|------|---------|
| 第4節 | 交通政策 | | | | | | | |
| 関係所属 | 企画総務課、交通安全課 | | | | | | | |
| 施策に対する市民満足度・要望度 (「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,043人 | | | 満足、まあまあ満足と回答した人数 | 満足度 | 力を入れてほしいと回答した人数 | 要望度 | | |
| 「交通政策」 所沢市は鉄道・バス路線が充実していて出掛けやすい | | | 742 | 36.3% | 354 | 17.3% | | |
| 評価指標の達成状況 | 指標名 | | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
| | 交通について不便と感じる人の割合 | | % | — | 45 | 17.3 | ○ | 35 |
| 事業目標の達成状況 | | | | | | | | |
| 基本方針 | | 事業目標 | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
| 6-4-1 | 交通政策の推進と公共交通の充実 | 市内の地域公共交通(バス)年間利用者数 | 千人 | 10,734 | 10,754 | 10,283 | × | 10,804 |
| 6-4-2 | 鉄道輸送の利便性向上 | 市内の鉄道駅の1日あたりの合計乗降客数 | 千人 | 413 | 419 | 415 | × | 429 |
| 6-4-3 | 駅の安全性・利便性の向上 | 西所沢駅西口改札口開設事業の進捗度 | — | — | 基本協定 | 協議中 | × | R5で開設 |
| 節の基本方針への取り組み状況 | | | | | | | | |
| <p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○新たな交通手段とところバスの役割分担について検討を進めた。特に三ヶ島地区における小型車両運行のルートや運行体制について、地域との協議を進め、実現に向けた具体的な案を作成した。</p> <p>○西所沢駅西口については、整備の方針が「橋上駅舎化及び東西自由通路等整備」から「改札口開設」へ変更となり、鉄道事業者と協議を重ねた。</p> <p>○「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(新座市、清瀬市、練馬区、所沢市で構成)」において、平成30年度に実施した「基礎調査」の内容(課題やルート案等)について、県の協力を得ながら分析を進めるとともに、埼玉県及び東京都に対して要望活動を実施した。</p> <p>○ところバスの路線や運賃等について、現在検討を進めている新たな形態の交通手段の導入状況を踏まえ、抜本的な見直しに向けた検討を行った。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少したものと考えられる。</p> <p>○西所沢駅西口開設については整備の方針が変更となったことに伴い、鉄道事業者との合意に向けた調整が未了となっていることから、前年度中に基本協定を締結できなかった。</p> | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | | | | | | | | |
| <p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○地域住民との連携のもと、交通不便地域における小型車両運行の検討を進める。</p> <p>○延伸促進協議会が平成30年度に実施した「基礎調査」に基づき、街づくりや事業スキームの検討を進めるとともに、埼玉県及び東京都に対して要望活動を実施する。</p> <p>○西所沢駅西口開設については、改札口の整備に向けた鉄道事業者との基本協定を早期に締結するとともに、令和5年度の開設に向け、駅前広場等の周辺整備を含めた調査・設計等の作業を進める。</p> <p>○ところバスの抜本的な見直しについては、乗合ワゴンの導入状況を踏まえ、コース、運賃及び見直し時期等について引き続き検討を進める。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○令和2年度についてもコロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少することが予想されるが、引き続き、利用しやすい地域公共交通網の整備を進める。</p> <p>○西所沢駅西口開設に関する基本協定の早期締結に向け、双方が合意できる内容を早期に提案し、鉄道事業者と協議を行う。</p> | | | | | | | | |
| SDGsへの貢献 | | | | | | | | |
| 1 | 貧困をなくそう | 10 | 人や国の不平等をなくそう | | | | | |
| 2 | 飢餓をゼロに | 11 | 住み続けられるまちづくりを | | | | | |
| レ | 3 | すべての人に健康と福祉を | 12 | つくる責任 つかう責任 | | | | |
| 4 | 質の高い教育をみんなに | 13 | 気候変動に具体的な対策を | | | | | |
| 5 | ジェンダー平等を実現しよう | 14 | 海の豊かさを守ろう | | | | | |
| 6 | 安全な水とトイレを世界中に | 15 | 陸の豊かさを守ろう | | | | | |
| レ | 7 | エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 | 平和と公平をすべての人に | | | | |
| 8 | 働きがいも経済成長も | 17 | パートナーシップで目標を達成しよう | | | | | |
| 9 | 産業と技術革新の基盤を作ろう | | | | | | | |
| 評価日 | R2.7.31 | 記入者職氏名 | 経営企画部次長 井上 典 市民部次長 田中 政美 | | | | | |

| | |
|-----|----|
| 第5節 | 水道 |
|-----|----|

| | |
|------|-----------------------------|
| 関係所属 | 総務課、経営課、窓口サービス課、水道建設課、給水管理課 |
|------|-----------------------------|

| | | | | |
|---|------------------|-------|-----------------|------|
| 施策に対する市民満足度・要望度 (「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,043人 | 満足、まあまあ満足と回答した人数 | 満足度 | 力を入れてほしいと回答した人数 | 要望度 |
| 「水道」所沢市は安全な水を安定して供給している | 1,247 | 61.0% | 124 | 6.1% |

| 評価指標の達成状況 | 指標名 | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
|-----------|----------------|----|----------|---------|--------|------|---------|
| | 水道事業に関する施策の満足度 | % | - | 100 | 61.0 | × | 100 |

| 事業目標の達成状況 | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------|---------------|--------------------|---------|--------|-------|---------|-------|
| 基本方針 | 事業目標 | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 | |
| 6-5-1 | 経営基盤の強化 | 資産の有効活用による収益額 | 万円 | — | 1,074 | 1,765 | ○ | 1,369 |
| 6-5-2 | 水資源の確保と有効利用 | 地下水の揚水量 | 万m ³ /年 | 412 | 350 | 333 | × | 350 |
| 6-5-3 | 安全な水の安定供給 | 配水池の耐震化率 | % | 71.7 | 74.5 | 76.1 | ○ | 100 |
| 6-5-4 | 更新需要と財政収支のバランスのとれた計画の実践 | 経常収支比率 | % | 110 | 110 | 110 | ○ | 110 |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 節の基本方針への取り組み状況 | | | | | | | |
| ◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り | | | | | | | |
| ○自主財源を確保するため、未利用地(旧岩崎ポンプ場)の売却契約を行うとともに、長期的債券(JICA債・TICAD債)を購入し利息収入を得た。 | | | | | | | |
| ○「事業の見える化」を進めるため、施策事業などの情報を掲載した広報紙を2回(7月、12月)発行し、全戸に配布した。 | | | | | | | |
| ○安全な水の安定供給と災害に強いライフラインを構築するため、水道管を1,314m布設し、13,965mを更新するとともに、第一浄水場の浄水池(2槽のうち1槽目)の耐震工事を行った。 | | | | | | | |
| ○「所沢市水道ビジョン」「水道事業経営計画」の策定に向けて、アセットマネジメント手法による分析・評価結果(平成30年度実施)と市民と企業を対象にしたアンケート調査結果(令和元年度実施)を上下水道事業運営審議会に報告し意見を頂いたうえで、水道ビジョンの素々案を作成した。 | | | | | | | |
| ◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析 | | | | | | | |
| ○満足度については未達成であったが、昨年度からは上昇(47.6%→61.0%、2位→1位)しており、取組が評価されたものとする。 | | | | | | | |
| ○地下水の揚水量については、県水の受水量を年間計画配水量の9割と定め、県水に地下水を混合し配水しているが、節水機器、節水意識の進展に加え夏期の降雨量が多かったなどの影響もあり、想定以上に配水量が減少したため、地下水の揚水量が減少したものとする。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 今後の方向性 | | | | | | | |
| ◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容 | | | | | | | |
| ○安全で良質な水道水を安定して供給するため、計画的な財源確保のもと、水道管の布設・更新工事、配水池等の耐震工事など進め、災害に強い水道を構築する。 | | | | | | | |
| ◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容 | | | | | | | |
| ○満足度については、さらなる上昇に向けて、各事業を確実に実施するよう取り組んでいく。 | | | | | | | |
| ○地下水の揚水量については、年間計画配水量と年間実施配水量の差を抑えられるよう、予算策定の際、年間計画配水量を的確に予測・試算するように努める。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|--------------------|----|-------------------|--|--|--|--|
| SDGsへの貢献 | | | | | | | |
| 1 | 貧困をなくそう | 10 | 人や国の不平等をなくそう | | | | |
| 2 | 飢餓をゼロに | 11 | 住み続けられるまちづくりを | | | | |
| 3 | すべての人に健康と福祉を | 12 | つくる責任 つかう責任 | | | | |
| 4 | 質の高い教育をみんなに | 13 | 気候変動に具体的な対策を | | | | |
| 5 | ジェンダー平等を実現しよう | 14 | 海の豊かさを守ろう | | | | |
| 6 | 安全な水とトイレを世界中に | 15 | 陸の豊かさを守ろう | | | | |
| 7 | エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 | 平和と公平をすべての人に | | | | |
| 8 | 働きがいも経済成長も | 17 | パートナーシップで目標を達成しよう | | | | |
| 9 | 産業と技術革新の基盤を作ろう | | | | | | |

| | | | |
|-----|---------|--------|---|
| 評価日 | R2.7.31 | 記入者職氏名 | 上下水道局次長 肥沼 宏至 上下水道局総務担当参事 磯 稔 上下水道局水道建設担当参事 松山 幹明 |
|-----|---------|--------|---|

| | | | | | | | | | |
|--|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|----------|-----------------|---------|--------|---------|---------|
| 第6節 | 下水道 | | | | | | | | |
| 関係所属 | 資源循環推進課、総務課、経営課、下水道整備課、下水道維持課 | | | | | | | | |
| 施策に対する市民満足度・要望度 (「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,043人 | | | 満足、まあまあ満足と回答した人数 | 満足度 | 力を入れてほしいと回答した人数 | 要望度 | | | |
| 「下水道」生活環境面で下水の処理に満足している | | | 1,145 | 56.0% | 133 | 6.5% | | | |
| 評価指標の達成状況 | 指標名 | | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 | |
| | 下水道事業に関する施策の満足度 | | % | — | 100 | 56.0 | × | 100 | |
| 事業目標の達成状況 | | | | | | | | | |
| 基本方針 | | 事業目標 | | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
| 6-6-1 | 自主財源の確保 | 有料広告用デザイン入りマンホール蓋の設置箇所数(累計) | | 箇所 | 10 | 20 | 27 | ○ | 70 |
| 6-6-2 | 生活環境の改善と公共用水域の水質保全 | 下水道普及率 | | % | 93.7 | 94.2 | 94.4 | ○ | 94.8 |
| 6-6-3 | 災害に強い下水道整備の推進 | 道路雨水樹の浸透化数(累計) | | 箇所 | — | 240 | 240 | ○ | 840 |
| 6-6-4 | 下水道施設の計画的な老朽化対策 | 下水道管渠の更生・布設替工事延長(累計) | | m | 214 | 644 | 799 | ○ | 3,728 |
| 節の基本方針への取り組み状況 | | | | | | | | | |
| <p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○「事業の見える化」を進めるため、施策事業などの情報を掲載した広報紙を2回(7月、12月)発行し、全戸に配布した。</p> <p>○広告媒体として活用するため、夜間、発光するマンホール蓋(イルミネーションマンホール蓋)の開発に取り組み、完成させた。</p> <p>○「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づき、第3期整備事業として污水管を2,587m(対象面積5.8ha)布設した。</p> <p>○下水道施設の耐震化を計画的に進めるため、污水管96m、人孔3箇所、調整池1箇所の耐震工事を行った。</p> <p>○市内各所で発生している内水被害を軽減するため、既存の雨水樹120箇所、雨水人孔2箇所を浸透化した。</p> <p>○下水道施設をリスク評価したうえで優先順位を付け、施設管理を最適化する「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、下水管の布設替を111m、更生を108m、設計を1,200m、管内カメラ調査を30km行った。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○満足度については未達成であったが、昨年度からは上昇(45.4%→56.0%、3位→3位)しており、取組が評価されたものと考ええる。</p> | | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | | | | | | | | | |
| <p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため計画的に污水管を整備するほか、下水道施設の更新や耐震化を図るとともに、豪雨による内水被害の軽減策を進める。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○満足度については、さらなる上昇に向けて、各事業を確実に実施するよう取り組んでいく。</p> | | | | | | | | | |
| SDGsへの貢献 | | | | | | | | | |
| 1 | 貧困をなくそう | 10 | 人や国の不平等をなくそう | | | | | | |
| 2 | 飢餓をゼロに | 11 | 住み続けられるまちづくりを | | | | | | |
| 3 | すべての人に健康と福祉を | 12 | つくる責任 つかう責任 | | | | | | |
| 4 | 質の高い教育をみんなに | 13 | 気候変動に具体的な対策を | | | | | | |
| 5 | ジェンダー平等を実現しよう | 14 | 海の豊かさを守ろう | | | | | | |
| 6 | 安全な水とトイレを世界中に | 15 | 陸の豊かさを守ろう | | | | | | |
| 7 | エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 | 平和と公平をすべての人に | | | | | | |
| 8 | 働きがいも経済成長も | 17 | パートナーシップで目標を達成しよう | | | | | | |
| 9 | 産業と技術革新の基盤を作ろう | | | | | | | | |
| 評価日 | R2.7.31 | 記入者職氏名 | 上下水道局次長 肥沼 宏至 上下水道局総務担当参事 磯 稔 | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|----------------------|------------------------|---|----------------------|-----------------|---------|--------|---------|---------|
| 第7節 | 住宅・住環境 | | | | | | | | |
| 関係所属 | 都市計画課、建築指導課、市街地整備課 | | | | | | | | |
| 施策に対する市民満足度・要望度 (「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,043人 | | | 満足、まあまあ満足と回答した人数 | 満足度 | 力を入れてほしいと回答した人数 | 要望度 | | | |
| 「住宅・住環境」 地域の街並みなどの住環境に満足している | | | 877 | 42.9% | 196 | 9.6% | | | |
| 評価指標の達成状況 | 指標名 | | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 | |
| | 住宅・住環境に関する施策の満足度 | | % | — | 66.0 | 42.9 | × | 68.5 | |
| 事業目標の達成状況 | | | | | | | | | |
| 基本方針 | | 事業目標 | | 単位 | (H29)現状値 | R元年度目標値 | R元年度実績 | 達成状況 | R6年度目標値 |
| 6-7-1 | 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進 | 長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数 | | 件 | 280 | 250 | 256 | ○ | 250 |
| 6-7-2 | 適正な公営住宅の管理・運営 | 市営住宅の入居戸数 | | 戸 | 773 | 777 | 722 | × | 787 |
| 6-7-3 | 住生活の安定と質の向上 | マンション管理無料相談会における相談受付件数 | | 件 | 19 | 25 | 27 | ○ | 42 |
| 節の基本方針への取り組み状況 | | | | | | | | | |
| <p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○長期優良住宅233件及び低炭素建築物23件の計256件を認定し目標値を達成した。</p> <p>○住宅等の耐震化を図るため、一戸建て住宅の耐震診断2件及び耐震改修2件、分譲マンションの耐震診断1件に対して補助金を交付した。</p> <p>○危険なブロック塀等を撤去し早期に改善を図るため、工事に要する費用の一部について補助金を交付した。(撤去のみ5件、撤去+軽量フェンス11件)</p> <p>○市営住宅の維持管理については、市営住宅等長寿命化計画に基づき、国からの補助金を得ながら修繕を進めている。</p> <p>○マンション管理無料相談会の相談受付件数は目標値を上回り、制度開始から短い期間で一定の周知が図られたと考えられる。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○市営住宅の入居戸数を増やすには、退去された住戸を速やかに整理・改修して入居募集を行うことが重要である。令和元年度は例年よりも退去者が多かったため管理代行委託料の範囲内で十分に整備することができず、入居募集のできる住戸が限られてしまった。</p> | | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | | | | | | | | | |
| <p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○耐震化が進んでいない非木造の共同住宅や緊急輸送道路沿道の建築物等について、建物所有者への働きかけを積極的に行い意識啓発を図る。</p> <p>○現在の市営住宅等長寿命化計画が令和3年度までとなっていることから、公共施設マネジメント推進室と協議しながら次期計画を策定して計画的な維持管理に努める。</p> <p>○マンション管理に係る支援策については、他市を参考に今後の取組方を検討していく。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○市営住宅の維持管理については計画的に修繕を行うとともに、管理業務を委託している埼玉県住宅供給公社と連携し効率的な入居管理に努めていく。</p> | | | | | | | | | |
| SDGsへの貢献 | | | | | | | | | |
| レ | 1 貧困をなくそう | | | 10 人や国の不平等をなくそう | | | | | |
| | 2 飢餓をゼロに | レ | | 11 住み続けられるまちづくりを | | | | | |
| レ | 3 すべての人に健康と福祉を | レ | | 12 つくる責任 つかう責任 | | | | | |
| | 4 質の高い教育をみんなに | | | 13 気候変動に具体的な対策を | | | | | |
| | 5 ジェンダー平等を実現しよう | | | 14 海の豊かさを守ろう | | | | | |
| | 6 安全な水とトイレを世界中に | | | 15 陸の豊かさを守ろう | | | | | |
| レ | 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | | | 16 平和と公平をすべての人に | | | | | |
| | 8 働きがいも経済成長も | レ | | 17 パートナーシップで目標を達成しよう | | | | | |
| レ | 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | | | | | | | | |
| 評価日 | R2.7.31 | 記入者職氏名 | 街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部建築指導担当参事 保坂 貞夫 | | | | | | |